

江戸時代から受け継がれる和船

江戸時代、江東区内の小名木川や横十間川は、行徳でつくった塩、成田山への参拝客、近くの農家でとれた野菜、東北地方から届く年貢米などを船で運ぶための大切な交通網でした。

令和の現在も和船に乗る体験ができます。



写真提供：一般社団法人江東区観光協会

※お江戸深川さくらまつり開催期間中の大横川での様子

横十間川の和船体験は、分速45mのゆっくりとした速さで、往復約900mの道のりを進みます。体験にかかる時間を求めましょう。

式

答え []

ぜひ、体験してみたい！
でも、体験にどのくらいの時間がかかるのだろうか？



地図データ ©2024 Google



渋沢栄一氏の邸宅がある、江東区！

令和6年（2024年）7月3日より、新紙幣が登場しました。江東区に邸宅がある渋沢栄一氏は、一万円の肖像に選ばれています。紙幣は、まとめて印刷されてから、裁断されて一枚ずつに分けられます。

何枚もの1万円札がつづられて印刷されている大きな紙面があります。紙幣1枚分のデザインがきれいに残るようにしながら、何枚目かの区切りにハサミを入れ、「正方形」に切り取ります。縦と横には何枚ずつ1万円札が並んでいるでしょうか。

（ただし、裁断の際には余分がでないものとしします。）

	160mm (16cm)	10枚 1600mm (160cm)	20枚 3200mm (320cm)
76mm (7.6cm)			
10枚 760mm (76cm)			
20枚 1520mm (152cm)			

新一万円札の顔“渋沢栄一”は、明治9年から12年間、深川福住町（現・江東区永代）に住んでいて、江東区にはゆかりの地が数多くあります。



江東区観光キャラクターコトミちゃん
江東区商標使用承認No.6-12

答え【

「正方形」にするためには、縦と横の長さが等しくなるところを見つければよいね。



江東区若洲にある東京ゲートブリッジ



写真提供：一般社団法人江東区観光協会

東京ゲートブリッジは、大田区城南島と江東区若洲を結ぶ東京東航路（第三航路）を横断する全長約2.6kmの巨大な橋。歩道からは東京港を一望することができ、景観・夜景の名所として知られています。2頭の恐竜が向かい合っているように見えるユニークな形状から「恐竜橋」の愛称で呼ばれることもあります。



江東区のナンバープレートには、東京ゲートブリッジが描かれています！

● 第1クォーター／第2クォーター

点Oが中心となるように、点対称な図形をかきましょう。

● 第3クォーター／第4クォーター

直線 xy を対称の軸として、「第1・第2クォーターで完成した点対称な図形」と線対称な図形をかきましょう。

